

# 山岳 おおさか

No.220

<http://sangaku-osaka.com/>

(一社)大阪府山岳連盟は、公益性、社会性を原点到、初心者から上級者までの登山を始め、幅広く山岳スポーツの普及と発展に努めています。



ホームページ Eメール

平成31年春号 2019年4月1日発行 | 〒537-0014 大阪市東成区大今里西2-5-12 TEL 06-6973-3675 FAX 06-7504-4214 yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

## シリーズ 道迷い遭難防止に役立つ…「ナビゲーション力(地形と地図を読む力)」を高めよう!

『あれっ、さっきと同じ三叉路じゃない?』こんな経験ありませんか? まっすぐ進んでいるつもりが、同じところをグルグルまわる「リングワンダリング現象」

に陥っているのです。今回は、「狐狸に化かされた」と呼んでいた地域や時代もあるという(※1)不思議な現象を体験してみました。

### 第5回のテーマ 同じ所を彷徨い歩く不思議

## 「リングワンダリングのナゾ!」〈初級編〉

リングワンダリングとは円形に彷徨い歩くことを言います。ホワイトアウトや吹雪の中、見晴らしの悪い藪や森などで方向感覚を失った際、一定方向に偏って歩いてしまう現象のことで、道迷い遭難の原因ともなっています。

本当にそんなことってあるの?というわけで、実際に試してみました。



### 1 ホワイトアウトという状況で歩いてみる



ホワイトアウトを再現する特殊ゴーグルを付け、歩いてみることにしました。

都心の高層ビルを  
目指して出発!



目標に向かって歩き始めます。5歩ずつ立ち止まり、本人はゴーグルをつけたまま目標と思う方向にコンパスを合わせ、追跡者はその位置をGPSで確認します。

〈次ページにつづく〉

## 2 200歩で180度に半回転!

光や音が頼りにできなくなりました。不安ですが、まっすぐ歩いているつもりです!

今、どんな気持ち?



## 3 250歩で、グルっと1回転!

実験成功!と、  
してやっつりの青山先生!

あれっ、ここどこ?あんなに曲がったの?



→ 歩いた軌跡  
→ 目標と思った方向  
計測点の大半で、本人の感じた目標方向が、進んだ方向より、回転する側にずれている。



歩き始めてしばらくは、「光」や「音」を頼りに進んでいました。しかし120歩あたりから曲がり始め、150歩で不安を感じると、歩幅が曖昧になってリングワンダリング現象が一気に進行。そして200歩目で180度半回転し、250歩目ではとうとう360度1回転してしまいました。

今回の取材では、のべ10人中9人が何らかの円を描くように彷徨いました。中には、3周したツワモノも!原因は「記憶した目標が進行方向から左右いずれかに偏る癖」とも指摘され、程度は人によって様々です。

さて、高い確率で起こるリングワンダリングの回避方法は、現在地を特定した後、視界が晴れるまでその場から動かないことです。

“Sit down & Think”これは欧米で叫ばれているスローガン。

「まず座って、そして冷静になろう」いい言葉ですね!

